

## はじめに

子どもの読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨くとともに、表現力を高め、創造力を豊かなものにするために重要であり、ソサエティ5.0の社会を逞しく生き抜き、豊かな人間性を育み、人生をより深く生きていく上で欠くことのできないものです。

豊後高田市では、これまでに平成19年3月には第1次、平成28年3月に第2次の子ども読書活動推進計画を策定し、子どもの読書をめぐる環境の整備を推進してきました。

また、次代を担う心豊かな子どもたちを育成するため、「学びの21世紀塾」を中心に、一人ひとりの子どもの個性や能力に応じた教育を推進し、家庭・地域・学校が一体となった「教育のまち」づくりをめざし、様々な取り組みを行っているところです。市立図書館や学校においても、第2次推進計画に基づき、子どもたちが行きたくなる図書館づくりに取り組み、読書活動の機会を増やし読書好きになるための取り組みを推進してきました。

その一方で、様々な情報メディアの活用が低年齢化しており、子どもの読書離れが顕著に表れてきているのも現状です。それゆえ、子ども一人ひとりに本の楽しさを伝え、発達段階に応じて読書活動を推進していくことは極めて重要で、地域及び学校の図書館が果たす役割はますます大きくなってきています。

これらを踏まえ、これまでの取り組みの成果と課題を検証し、このたび「第3次豊後高田市子ども読書活動推進計画」を策定しました。

今後は、第3次推進計画に基づき、市立図書館、学校、幼稚園・保育園、家庭・地域などあらゆる機関が連携して、施策を推進していきます。

第3次子ども読書活動推進計画策定にあたりまして、貴重なご意見をいただきました「豊後高田市子ども読書活動推進懇話会」の委員の皆さまに深く感謝を申し上げます。

未来に向かって羽ばたこうとしているふるさとの子どもたちが、読書活動を通して、主体的・協働的な学習に取り組むことができ、自分の夢が実現できることを願っていますとともに、市民の皆様や関係各位のご支援ご協力をお願いいたします。

令和4年3月

豊後高田市教育委員会  
教育長 河野 潔